

⑥ 6年生 | 「世界の中の日本」

カルトグラムで世界の中の日本を考えよう

○カルトグラム

今回おもしろい資料を取り上げてみました。ふつうの世界地図とは少し違います。これは、カルトグラムといって、面積でなく、別のものを基準にした変形地図です。このカルトグラムを使って、「世界の中の日本」を学習します。少し難しいテーマですが、このふしぎな地図に子どもたちも興味を持ってくれるでしょう。

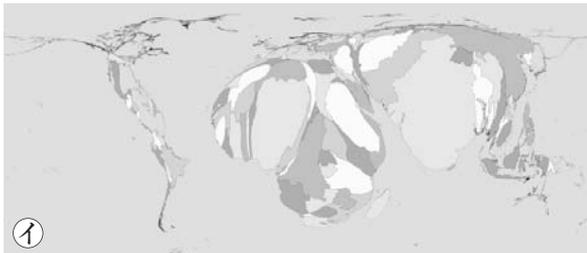
子どもたちに、下の㉠の地図を見せ、「この地図は面積でなく、あるものを表した地図です。いったい何を表しているでしょう？」と投げかけます。そして、ノートに予想と気付いたことを書かせます。教室にはプロジェクターで大きく表示し、ひとりひとりには印刷して配るといいでしょう。



○日本と世界が見えてくる

予想が書けたら、大きい国を挙げさせ、中国・インド・インドネシア・ブラジルなどを押さえます。地図帳の統計欄を見ている子どもがいたら、すかさず褒めて、全員で地図帳を確認するように誘導します。国の名前を挙げただけでは予想がつかない子どもも、統計欄を眺めているうちに、この地図が、世界の人口を表したものであることに気付くでしょう。最後には、全員で人口の統計を確認するようにします。あらかじめ地図帳の統計欄がヒントになることを伝えておくのも、いいかもしれません。

次に、下の㉡の地図を見せ、さっきと同じように、ノートに予想と気付いたことを書かせます。



今回は大きく描かれた国と小さく描かれた国の両方を考えさせるようにします。そして小さい国＝先進国ということに気付かせます。これは、乳幼児の死亡率を表したカルトグラムです。この地図からは、南北問題、いわゆる世界の貧富の差が見えてきます。

時間があれば、後述するサイトからGDPのカルトグラムを使って同様に考えさせます。

最後に、今日の授業を通して考えたこと、日本についてどう思うかをノートに書かせます。そして、世界の国々がお互いに協力していかなければならないことを押さえます。

○複数のカルトグラムでさらに広がる

㉠㉡のカルトグラムは、ミシガン州立大学のサイトで公開されているものです。

<http://www-personal.umich.edu/~mejn/cartograms/>

この他にも、GDP（国内総生産）、地球温暖化、エイズ感染者、エネルギー消費などを指標としたカルトグラムが公開されています。カルトグラムの組み合わせによって、環境問題などの学習にも活用できます。